

関 係 各 位

補強土植生のり枠工協会
(GTフレーム工法)

「GTフレーム工法」仕様変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対し、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、2016年5月15日より、下記内容についてGTフレーム工法の一部仕様変更を行います。資料を送付致しますので、ご対応のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

【変更内容】

専用資材「GTアンカー」の形状を変更します。

GTアンカーⅠ 形状・寸法	
変更前	
変更後	
GTアンカーⅡ 形状・寸法	
変更前	
変更後	

※材質、防錆処理は、変更ありません。その他、新形状のGTアンカーの詳細については、別紙リーフレットを参照ください。

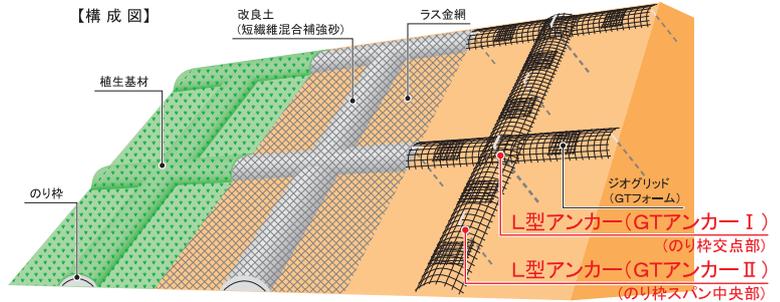
【お問い合わせ先】

補強土植生のり枠工協会 事務局
〒503-0021 岐阜県大垣市河間町 3-55
イビデングリーンテック(株)内
TEL/FAX 0584-81-6838
E-MAIL info@gt-frame.com

GTフレーム工法の専用資材 『GTアンカー』の形状が変更になりました。

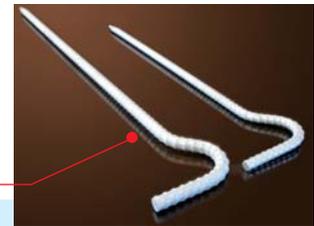
●GTアンカーの役割

GTアンカーは、異形棒鋼を材料とする2種類のL型アンカーです。
 施工中は、ジオグリッドのズレ止めアンカーとして、完成後は、のり枠をのり面・斜面に固定するアンカーとして機能します。
 GTアンカーⅠは、のり枠の交点部の位置に、GTアンカーⅡは、縦・横枠のスパン中央部の位置に打設します。



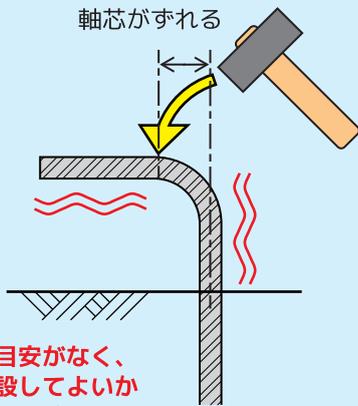
●新形状「GTアンカー」のメリット

新形状「GTアンカー」は、L型部の曲げ形状が変更となりました。
 GTアンカーを打設する際の施工性や安全性の向上、施工管理が容易となるメリットがあります。



【変更前】

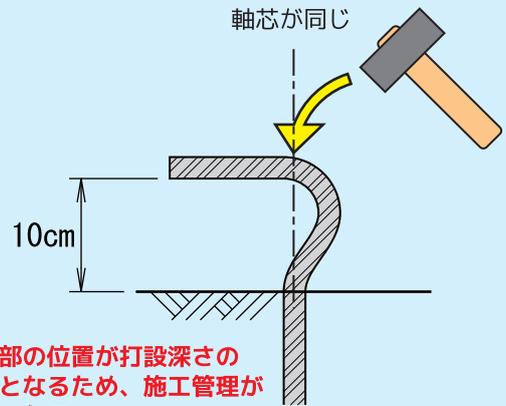
打設位置がアンカー軸芯とずれるため、ハンマー打設したときにブレ・振動が生じて施工しにくい



打設深さの目安がなく、どこまで打設してよいか施工管理がしにくい

【変更後】

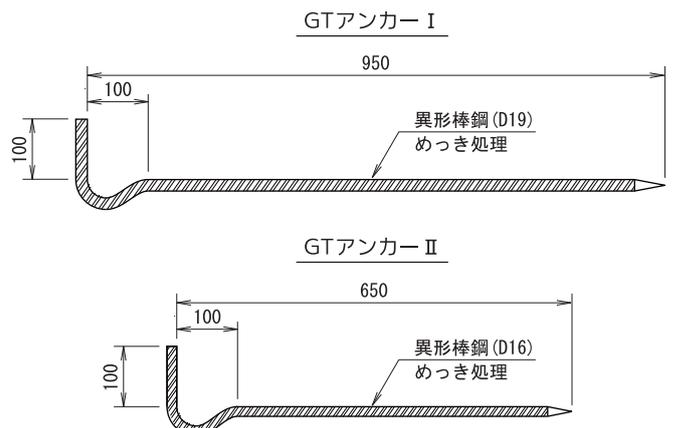
打設位置がアンカー軸芯と同じであるため、ハンマー打設したときにブレ・振動が生じず安全に施工できる



曲げ部の位置が打設深さの目安となるため、施工管理が容易となる

●新形状「GTアンカー」材料規格

品名	GTアンカーⅠ
品番	D19×900L型N
材質	異形棒鋼 (JIS G 3112) SD295AまたはSD345
防錆処理	溶融亜鉛-スズ合金めっき (KSGめっき) 付着量 30 μm以上
品名	GTアンカーⅡ
品番	D16×600L型N
材質	異形棒鋼 (JIS G 3112) SD295A
防錆処理	溶融亜鉛-スズ合金めっき (KSGめっき) 付着量 30 μm以上

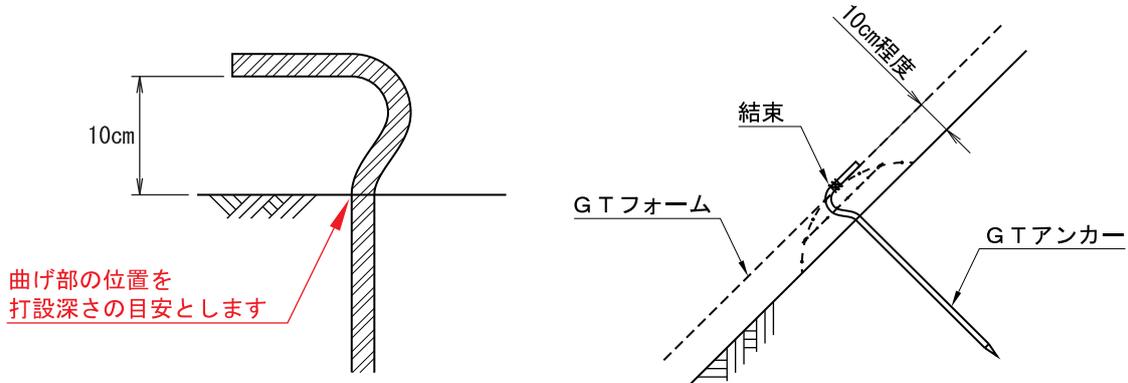


● L型アンカー工

ジオグリッド設置完了後、GTアンカー I (D19×900L型N)をのり枠交点部の位置に、GTアンカー II (D16×600L型N)をのり枠スパン間中央部及び張出し枠先端付近の位置に打設します。

GTアンカーの打設は、ハンマーの打ち込みにより打設し、岩部においてはハンマードリル等により削孔した後に打設します。

GTアンカーの打設深さは、L型部がGTフォーム上面に接するまでとし、曲げ部の位置を打設深さの目安とします。打設後は、L型部とGTフォームを結束して固定します。



▲ GTアンカー打設状況

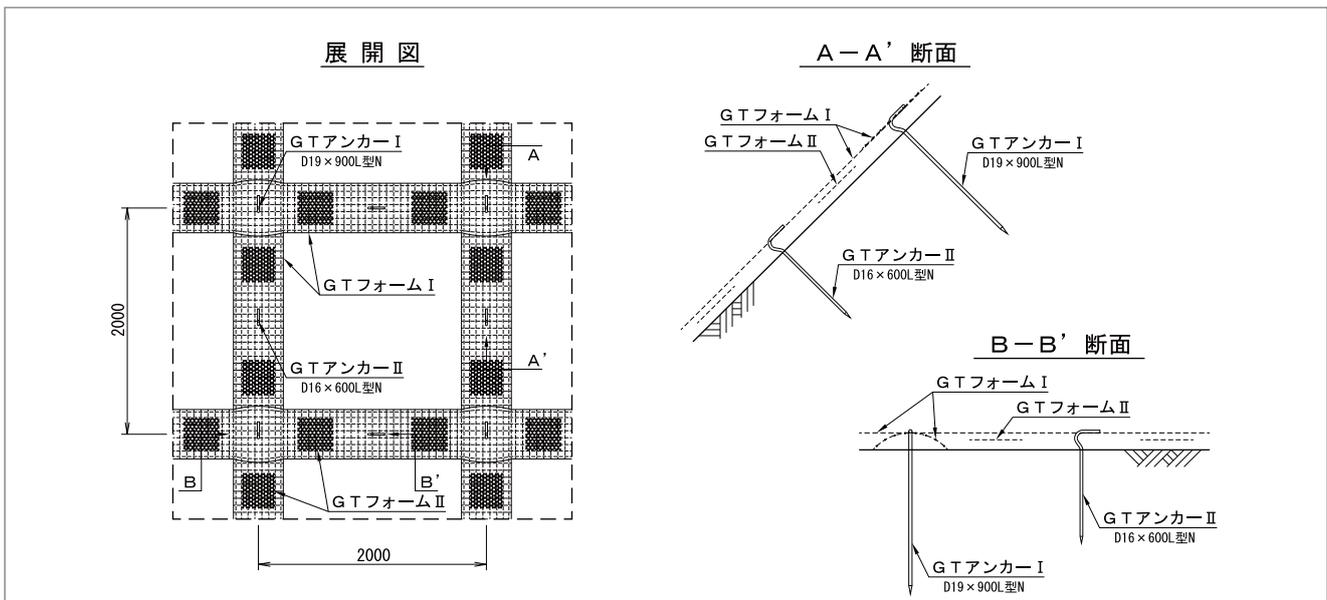


▲ L型部とGTフォームの結束



▲ GTアンカー打設完了

【L型アンカー工 配置図】 枠間隔2.0×2.0mの場合



補強土植生のり枠工協会

<http://www.gt-frame.com>

事務局

〒503-0021 岐阜県大垣市河間町3丁目55番地
イビデングリーンテック株式会社 内
TEL/FAX 0584-81-6838